今、変わる！

流山市議会だより

第183号
令和５年５月14日

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1−1−1　議会事務局内
電話04-7150-6099（直通）FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。　ホームページアドレス https://www.nagareyamagikai.jp/

写真コンクール入賞作品　谷口夕香里さん撮影の「はなれてもともだちだよ！」（撮影場所：運河水辺公園）

撮影の背景　お引っ越しをするお友達との思い出の写真です。菜の花と桜に囲まれた４人の姿を見ていて、大きく成長した姿で会えるのが楽しみです。

令和5年度一般会計予算可決

「帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について」を全会一致で可決（6・8面参照）

令和5年第1回定例会概要

２月16日の開会日には、市長から「令和５年度流山市一般会計予算」を含む26件の議案が提出され、提案理由の説明が行われたほか、２件の報告がありました。（要旨8面）

市政に関する一般質問は、２月21日、22日および24日並びに27日の４日間にわたり、21人の議員が登壇し行われました。（要旨3〜6面）

２月27日の一般質問終了後には、議案26件、陳情７件が各常任委員会、予算審査特別委員会に付託されました。各常任委員会は、３月１日から３日および６日の４日間、予算審査特別委員会は、３月７日から９日および13日の４日間にわたり審査が行われました。（要旨2・3・7面）

３月22日の最終日には、予算審査特別委員会の委員長報告に対する質疑、議案に対する討論、採決が行われました。その後、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案などに対する討論、採決が行われました。その後、議員からは、「つくばエクスプレスの更なる充実を求める決議について」を含む13件の発議が提出され、発議に対する質疑、討論、採決が行われました。（要旨6・8面）

クローズアップ

提案力で市政に貢献！

市議会は、市政へのチェック機能を発揮するとともに、現場の諸課題や要望を「決議」として特定の問題や課題への意思表示と意見表明を行ったり、予算審査・決算審査各特別委員会で「議会全体の指摘・要望事項」をまとめ、執行部へ提出するなど、提案力を最大限に生かし、市政の礎の一部を築いてきました。ここで、市議会が提案し、執行部が取り入れた事例をいくつか紹介します。

まず「決議」としては、平成31年第１回定例会で「子どもへの虐待防止に関する決議について」を全会一致で可決し、関連する予算の増額および人員体制の拡充に貢献しました。引き続き市議会は、関係機関との連携強化や職員一人当たりの相談件数の軽減に向け注力していきます。

次に、執行部に提出した「議会全体の指摘・要望事項」の「将来の廃止が見込まれる防災行政無線については、その代替策について早期に検討を開始されたい」との要望項目については、防災行政無線屋外子局30基の更新により子局の延命化が図られ、代替策の検討が進められています。また、「小中学校においては、教員がより子どもと向き合える時間を創出するため、部活動への支援策を拡充されたい」との要望項目により、新たに部活動支援の予算が計上され、教員が子どもと向き合える時間の確保、生徒が専門的な指導に触れる機会の創出といった成果を得ることができました。さらに、「小学校校舎等改修事業については、ロッカー等、学校教材の大型化に対応した設備に改修を図られたい」との要望項目に対しては、国の補助金活用を中心に改修が予定されており、一定の成果を生み出しています。

今後も、議員同士の議論を深め、調査・研究を行い、決議や議会全体の指摘・要望など、あらゆる機会を通じて、積極的な提案ができるよう、全力で取り組んでいきます。

議員構成変更のお知らせ

〜新構成は次号でお知らせします〜

４月２３日に市議会議員一般選挙が行われ、議員の構成が変わりました。

詳細については、市議会ホームページまたは８月１５日に発行予定の『流山市議会だより第１８４号』をご覧ください。

流山市議会　議員の紹介　検索

市議会ホームページ「議員の紹介」はこちらからもご覧いただけます

流山市議会個人情報保護条例が施行されました

「流山市議会個人情報保護条例」が令和５年４月１日に施行されました。

この条例は、本市議会における個人情報の適正な取り扱いなどについて、必要な事項を定めた条例です。

条文などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会個人情報保護条例　検索

こちらからもご覧いただけます

令和５年度予算案を審議
一般会計予算額は856億1300万円

予算審査特別委員会の様子

令和５年度一般会計予算については、７人で構成する予算審査特別委員会が２月２７日に設置され、３月７日から９日、および１３日の４日間にわたり審査が行われました。
その後、３月２２日の本会議において、賛成多数をもって原案のとおり可決されました。
本会議における一般会計予算に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

【予算審査特別委員会】

委員長　石原　修治
副委員長　楠山　栄子
委員　西尾　段
委員　斉藤　真理
委員　中川　弘
委員　小田桐　仙
委員　青野　直

予算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

こちらからご覧いただけます

流山市議会 予算審査特別委員会　検索

各会派等の意見表明

反対　日本共産党

理由は、①物価等高騰対策の欠如です。国・県と市の役割発揮が期待されています。一方、前年度比９割の予算を削減し、市民１人当たりでは、わずか２８０円。「くらしと営業を守る気」ゼロと言えます。②命の軽視です。病床不足は認めながら、脆弱な市内救急医療機関委託費・負担金は７４００万円で、単価の見直しもありません。観光予算の５割弱に留めたことは、優先順位の誤りです。最低１億１千万円弱（市税の０・３％）増額し、受け入れ体制を維持・充実すべきです。③福祉が良くなっていません。超高齢化社会のもと、老人福祉費は前年度比６００万円減額され、福祉の増進に至っていません。④市職員が不足しすぎています。市民千人当たりの職員数が県下最少の本市を柏市並みにすると、８００人増員となります。職員不足は、不登校や児童虐待への対応、救急隊や保健師・土木・建築技師などの専門職、一般事務にまで影響しており、健康的な働き方や、業務の継承などに課題があります。

賛成　流山みらい

子どもたちの１年間はあっという間に過ぎていきます。特にコロナ禍の３年間で中学生や高校生は卒業してしまいます。だからこそ、子どもたちのために優先的に税金を支出し、良質な環境を提供することを要望します。

次に、環境への配慮、特にCO_2排出削減のため、できることに早急に取り組む姿勢が大切です。

また、市民活動を活性化して多くの市民を巻き込み続けることや、今後、本市においても間違いなく進んでいく高齢化に備え、免許を返納しても交通手段に困らないよう、公共交通の整備をすることを要望します。

空き店舗活用事業などの商工振興については、その店や会社をスタートさせることだけではなく、長く続けられるように支援することを要望します。

令和５年度は、３年間中止となっていた流山花火大会も実施される方向で検討が進んでいるようで、明るい年になりそうです。

最後に、今後ますます市民に喜ばれる流山市政であり続けることを要望し、賛成とします。

賛成　流山

令和５年度一般会計予算では、小中学校の整備や移転をはじめ、一般廃棄物処理施設の延命化事業、中央消防署の移転などの大規模事業の実施に伴い、８５６億１３００万円と過去最大の予算規模となりました。これらの事業に備えて、「教育、文化及びスポーツ振興基金」をはじめとして、各特定目的基金からの繰入金を活用し、会計の負担を軽減していることが、４日間の質疑などを通して確認できました。

総括質疑では、①令和５年度一般会計予算と流山市自治基本条例との整合性、②児童生徒の登下校時と学校内での安全確保、③障害のある子もない子も、全ての子どもに寄り添った教育の実現、④教員不足を補うための効果的な対応と、令和５年度における不登校児童・生徒への対応、⑤後期高齢者の移動支援と医療・介護の充実、⑥地域資源を生かしたツーリズムの充実、以上の事項などについて質問しました。

今後も限られた財源を効率的・効果的に活用し、健全財政維持に努めることを確認していきます。

議会共通指摘要望（全13項目）

令和５年度一般会計予算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策		共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	（1）	救急救命士養成事業においては、本市の救急体制に即した救急救命士の定員充足に向けて努力されたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	（1）	若年の末期がん患者への支援については、対象者への周知強化を図られたい。
	（2）	HPVワクチンの定期接種に新たに９価ワクチンが加わったことについて、わかりやすい説明と共に対象者への個別通知を実施されたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	（1）	交通不便地域における移動手段の確保については、地域住民と市の共働で課題解決に取り組まれたい。
	（2）	地域公共交通活性化事業では、ぐりーんバス、民間バス・鉄道などと連携し、利便性向上を図られたい。
	（3）	流山市が「ゼロカーボンシティ」を表明したことについては、市民や事業者へ積極的に周知し、２０５０年までに二酸化炭素排出実質ゼロへ向けての地球温暖化対策を加速されたい。
賑わいと魅力のあるまち	（1）	グループ提案型売上アップ・プロジェクト応援事業については、物価高騰に直面する市内事業者へさらなる支援拡充と周知の強化を図られたい。
	（2）	空き店舗有効活用事業について、新たにチャレンジする事業者の補助として広く知れ渡るよう周知広報に努められたい。
誰もが自分らしく暮らせるまち	（1）	障害者成年後見申立事業については、十分な周知を図るとともに、成年後見制度のさらなる利用促進を図られたい。
子どもをみんなで育むまち	（1）	不登校児童生徒への対応を含む教育研究企画室の職員体制について、専門人材を拡充し、急増する不登校児童生徒に対する実効性のある対応をされたい。
	（2）	流山市部活動支援事業について、児童生徒の安全等に努められたい。
体系外（市総合計画における６本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業）	（1）	生活保護ケースワーカーや保健師、土木建築技師の増員を図られたい。
	（2）	全庁LAN整備事業で導入するPCのスペックについて、業務内容に合わせ改めて検証されたい。

令和５年度歳入歳出予算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。

令和５年度予算　流山市　検索　こちらからもご覧いただけます→

https://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/1008311/1008338/1038913/1038916.html

賛成　公明党

本市は、子育て世代の転入による人口増加や、物流倉庫の建設などにより、市税において個人市民税や固定資産税が堅調であることや、令和５年度から着手されるごみ焼却施設の大規模改修、小中学校の新設や移転にかかる建築費や改修費などに充てるため、国庫補助金を活用すること、さらに、大規模予算を要する事業に備え積み増してきた基金を導入するなど、計画的かつ堅実な歳入確保に取り組んでいます。

課題としては、高齢化が進む中で、介護保険特別会計と後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加傾向にある点と、市外へのふるさと納税による損失額が1億9千万円を超えている点があります。今後、課題解決に取り組まれることを要望します。

歳出では、子ども・子育て関連の予算が増加している中で、子ども医療費助成について、高校３年生までの拡充が盛り込まれたことを高く評価するとともに、高齢化が進む交通不便地域の課題解決に向けた具体的な取り組みの強化を強く要望し、賛成とします。

賛成　自由民主党

１点指摘して、賛成とします。

株式会社流山ツーリズムデザインに関する総括質疑において、本年２月に更新された「観光地域づくり法人形成・確立計画」の活動に関わる運営費の額および調達方法の見通しに記載されている流山市からの補助金と業務委託料の額が、予算説明書と一致しないことについて質問したところ、担当部長から、同計画の当該箇所は修正できない旨の答弁がありました。

経営に関わる重要な数字が修正できないことは合理性に欠けるため、観光庁観光地域振興課の観光地域づくり法人支援室に問い合わせたところ、法人と行政の間で合意すれば随時更新して差し支えないとの回答があり、答弁が誤りであることが確認できました。また、過去に訂正済みであった箇所に再度誤りがあるなど、ずさんな作業も見受けられます。

極めて重要な事柄に関する誤った答弁は、執行部と議会の信頼関係を危うくするものであり、執行部の猛省と再発防止を強く求めます。

会派に属さない議員　反対　大野　富生

以下の問題点を指摘し、反対します。

広報ながれやまを含む広報紙の、折込業務委託に重大な疑義があります。①受託者と取り交わす契約書（および仕様書）の内容が守られず、結果手数料を余分に支払っていたのか。②受託者は、事前の承諾が必要となる再委託を、市の承諾がない状態で行っていたのか。

これらの問題を解明せず、再発防止策を講じずに引き続き同一事業者と契約することは、流山市政に対する、市民の信頼を失うことになります。

会派に属さない議員　賛成　森田　洋一

財政面で人口増加により市税収入が増える一方、市債発行額が過去最大、財政調整積立基金の繰り入れが大きいです。要因は、新規学校建設、廃棄物処理施設延命化、中央消防署移転など大規模事業の財政負担です。人口が減らない街の実現には、物事の光と影や陰と陽の部分を踏まえ、あるがままの日常から魅力を発掘、他自治体の真似ではなく独自性を持つ、多様性を尊重し、住んでよし訪れてよしの街を作ることが重要です。そして、トップの本気度が問われます。

会派に属さない議員　反対　阿部　治正

以下の課題への具体策の裏付けが不十分ないし欠落さえしていることから反対します。新型コロナウイルス感染症の再活性化への対策や次なる感染症の襲来への備え。物価高騰から市民の暮らしを守る市独自の施策。民間任せの開発主義がもたらした負の産物の是正策。急速に進む高齢化と増大する介護ニーズへの先取り的対応。交通移動手段が十分でない年齢層や地域への支援策。社会環境の変化に応えることが困難となった学校システムの改革や柔軟な運用など。

～令和４年度政務活動費収支報告書などの公開についてのお知らせ～

流山市議会では、地方自治法第100条第16項に規定する「透明性の確保」のため、積極的に政務活動費収支報告書などを公開しています。令和４年度分のホームページおよび市役所情報公開コーナーなどでの公開については、６月上旬を予定しています。

また、８月15日発行の『流山市議会だより』第184号にも、令和４年度政務活動費収支報告などの詳細を掲載予定です。

政務活動費とは…

議員が行う調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するもので、本市では会派または会派に属さない議員に対して交付しています。

※過去の政務活動費収支報告書などは、市議会ホームページでご覧ください。

流山市議会　政務活動費　検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます➡

市政に関する一般質問

令和５年第１回定例会の一般質問には、21人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、１問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。

観光施策における情報発信について　森田　洋一

問　観光では、職員やスタッフによる情報発信も大切である。観光資源をPRするには、発信者がその魅力を理解し、他の人に勧めたいという気持ちが重要である。日頃からフリーで動けて、観光の研究が十分できる土壌形成が必須ではないか。

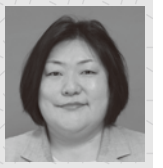
答　**市長**　流山本町・利根運河ツーリズム推進課は、大型事業である白みりんミュージアムの整備や赤城山公園の修景整備などのツーリズム環境整備事業を推進しています。情報発信では、令和４年8月26日に同課の公式インスタグラム、流山ツーリズムを開設しました。同インスタグラムは職員が実際に体験し、感じたことを迅速に発信しています。また、今後の政策を考える上で同地域の店舗を訪れ、来訪者の状況や地域活性化への思いを直接伺うことが重要であるため、職員は日頃からまちへ出ることを業務としています。今後も、職員自らが積極的にまちの情報を得る体制を継続していきます。

高齢者福祉を支える人材確保策について　流政会　青野　直

問　令和６年度から令和８年度までの、第９期流山市高齢者支援計画の中で、介護現場の人手不足の深刻さを位置づけることが重要だと考える。高齢者福祉を支える介護人材確保策について、どのように取り組もうとしているのか見解を求める。

答　**市長**　第８期計画では、介護福祉士資格を取得し従事しようとする在学者に対し、無利子で修学資金を貸し付け、一定条件下で返済を免除する介護福祉士修学資金貸付事業を令和３年度から実施し、令和４年度からは、市民などに向けた介護の仕事フェアを開催しているほか、一定要件を満たす介護職員などに対し、月額９千円の補助を行う市独自の「介護職員等処遇改善事業」を開始しました。介護人材の確保は重要だと認識しており、現事業の充実とともに、令和６年度に向け、ケアマネジャーも「介護職員等処遇改善事業」対象とすることを検討するなど、さらなる人材の獲得と定着に資する施策を、第９期計画に位置づけます。

今定例会の一般質問通告は、市議会ホームページをご覧ください。　流山市議会　令和５年第１回定例会　日程・通告　検索



新型コロナウイルス感染症区分変更への対応

流政会　笠原　久恵

問 **①施設や事業所での感染者発生時における市の対応について、内容や支援の実施状況を問う。②２類から５類へ区分変更された場合、市内介護現場における感染対策の緩和策は。③事業者に対し区分変更の内容を説明すべきと考えるがどうか。**

答 **健康福祉部長**　①市内の介護保険施設などで感染者が確認された場合、感染症法上の届出義務はないものの、必要時に対策を講じるため、市に報告するよう依頼しています。報告を受けた際は聞き取りを行い、陽性者対応に関する助言や、必要に応じて検査キットや感染防護具を提供するなどの支援をしています。②国において、感染症の位置づけを５月８日から５類に変更することが示されたことを受け、本市の対策本部では、高齢者施設などでは引き続きこれまでと同様の対策を行うことを決定しています。③５類への変更において高齢者施設などの感染対策に変更がある場合には、事業者などに必要な説明を行っていきます。

住宅地へのデータセンター建設計画は中止を

阿部　治正

問 **平和台地区へのデータセンター建設計画は、住民の理解、計画の現実性・実現可能性という県指針、また国が示す三条件を満たしていない。計画が前提の土地用途変更は間違い。実現しなかった場合、用途を元に戻すことは制度上不可能か。**

答 **まちづくり推進部長**　国が公表したデジタルインフラ整備に関する有識者会合中間取りまとめは、災害時に共倒れとならないような分散、将来的な拡散の可能性も含めた面積確保などを重視したとしています。平和台１丁目地先の計画は約1・3ヘクタールと、事業規模の小さい民間事業ですので、整合性について市の意見を申し上げる立場にはないと考えます。また、県提案制度の手引きを参考に、市まちづくり条例に基づく都市計画提案制度の審査基準に照らして確認し、整合していると判断し提案を受けました。

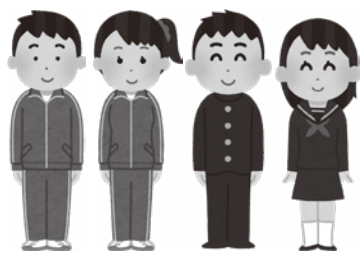
計画が進まなかった場合、用途変更が制度上できない、ということではないですが、市として変更する考えはありません。

流山市立小中学校の運営について

流政会　野田　宏規

問 **①生徒指導提要の改訂も行われたため、市内各小中学校の校則をホームページなどで公開すべきと考えるがどうか。②流山市立中学校で校内着をジャージとしていることの課題を述べたが、その後の進捗はどうか。**

答 **教育長**　①現在、生活の決まりや校則の見直しを図るとともに、ホームページでの公開に向けて準備を進めています。②市内各中学校においては、学校生活の中で制服、ジャージ、ウインドブレーカーなど、生徒の実情に合わせたものを着用しています。一律にジャージの着用を強要することはありません。生徒たちは登校してから学校生活にスムーズに移行できるよう、自分たちで自主的に考え、さまざまな工夫をしています。



流山市消防団の現状と課題について

流政会　渡辺　仁二

問 **市消防団の団員に対して行われたアンケートにおける質問項目のうち、消防団活動を通じて不満に感じる事として一番多い回答は「消防操法大会の負担が大きい」であった。このことについて、当局はどう考えるか。**

答 **消防長**　同大会については、全国的にも競技内容が実践的でないといった批判や訓練が負担となっているといった声があり、今年度から全国消防操法大会の実施要綱が一部改正され、過度に団員の動作をそろえるといった動きや実際の消火活動には役立たない部分の簡素化が行われ、訓練時間の短縮や訓練などで拘束されることによる負担の軽減が図られる動きとなっています。消防操法は火災活動の基本であることから、継続して訓練を実施することが大切と考えますが、簡素化が図られてもなお団員にとって同大会が負担だということであれば、本市で実施する操法大会についても開催方法などの見直しに関する協議を消防団と共に図っていきます。

横断歩道の安全対策について問う

自由民主党　中川　弘

問 **道路交通法では、横断歩道における歩行者優先が定められている。安全対策がほとんど進んでいない信号機の設置されていない、横断歩道における安全対策について、優先順位を付け、順次実施してゆくべきと考えるがどうか。**

答 **土木部長**　議員からご提案があったように、都市計画道路などの車両の通行が多く歩行者も多い幹線道路、児童生徒が多く利用する通学路にある横断歩道については、学校関係者と十分な協議を重ねながら、優先的に安全対策を実施していきます。

中小企業や家庭への市独自の支援策を!!

流山みらい　藤井　俊行

問 **①光熱費や物価が高騰している。中小企業や家庭への支援策を講じるべきでは。②電子決済サービスの応援プロジェクトなどの活用で、市は、地域経済を盛り上げるための地域振興券や商品券などの発行、換金などが不要となる。検討しては。**

答 **経済振興部長**　①市独自の支援策として、運送事業者継続支援事業による燃料費補助の他、商品・サービスの開発や販路拡大などの新たな取り組みを行う事業者グループに、流山市事業者提案型売上アップ・プロジェクト応援補助金による給付などを行っており、別の支援事業実施の考えはありません。家庭への支援は、国事業の住民税非課税世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を一世帯５万円、また市独自給付として、住民税均等割のみ課税の世帯に一世帯５万円支給しており、新たな支援策の予定はありません。②情報収集をしっかり行いながら、研究、検討していきたいと思います。

救急隊の増隊と負担軽減について

公明党　戸辺　滋

問 **日勤救急隊の運用は、救急出動件数の多い日中の出動対応を補完するとともに、子育てや介護などにより夜間勤務が難しい隊員の受け皿となるなど利点が多くあります。よって、早期に運用すべきと考えますが、当局の見解をお聞かせください。**

答 **消防長**　現在本市では、救急医療体制について保有する人員、資機材を最大限活用するとともに、近隣市との応援体制の強化を図っています。本市の令和４年の救急出動件数は１万４０５件で、令和３年の救急出動件数と比較して１９３５件増加し、過去最多の出動件数となりました。このことから、救急隊の増隊も視野に検討していかなくてはなりません。日勤救急隊か、通常の救急体制の運用かは、近隣市の日勤救急隊の運用後の効果、新型コロナウイルス感染症の拡大が終息した後の本市の出動件数および時間帯別の救急出動件数などを見ながら、令和７年度中の運用開始を目指していきます。

２０２５デフリンピック東京大会について

公明党　岡　明彦

問 **２０２５デフリンピック東京大会開催を機に、デフスポーツやデフアスリートとつながり、知ることで障がいに対する理解が進むと考える。多様性のある社会、共生社会をつくり上げていく機運醸成のため、啓発を進めるべきと考えるがどうか。**

答 **学校教育部長**　デフスポーツの体験やデフアスリートとの交流は、子どもたちにとって、聴覚障害のある方々への理解を深めるとともに、障害の有無にかかわらず、誰に対しても差別や偏見を持つことなく、互いを認め尊重する態度を身につける機会になると考えています。また、これからの共生社会をつくり上げる機運の醸成にもつながるものと捉えています。

本市ではこれまでも、障害のある方々が楽しむボッチャやラダーゲッターなどの種目の紹介をし、多くの子どもたちが体験できる機会をつくってきました。デフスポーツについても、小中学校を中心に幼稚園、保育園などにも啓発に努めたいと考えています。

議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記（「障害者」を「障がい者」と表記するなど）については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。
そのため、異なる表記が混在することをご了承ください。

高齢者・障害者への福祉の増進に全力を

日本共産党　高橋　光

問　**①高齢者や障害者への福祉増進について、令和５年度はどのように進めますか。②介護保険、後期高齢者医療保険などの特別会計への繰入金を除く高齢者１人当たりの福祉の予算は、10年前、また直近５年間でどのように推移していますか。**

答　**健康福祉部長**　①高齢者施策は、高齢者ふれあいの家支援事業、敬老バス支援事業など、高齢者が社会参加の機会を得られる事業を推進します。障害者施策は、障害者自立支援給付事業や地域の実情に合わせて実施する相談支援事業、障害のあるお子さんのための児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所支援事業などを引き続き実施します。

②過去５年間については、令和４年度は１人当たり３１４０円、３年度は３３２０円、２年度は３４１０円、元年度は５７３０円、平成30年度は５２２０円です。10年前の平成24年度は、１万５９０円です。高齢者人口の増加に伴い、１人当たりの予算額は減少傾向です。

急性期および救急医療の体制拡充を

日本共産党　乾　紳一郎

問　**東葛北部医療圏内各市の急性期病床がある病院数、病床数はどうなっていますか。また、小児救急医療体制はどうなっていますか。北部地域に新病院設置の事業計画が提出されています。市はどのような支援をしますか。急性期病床ですか。**

答　**市長**　急性期病床がある病院数は、柏市12病院（以下数のみ）、松戸市11、我孫子市７、野田市３、流山市３、病床数は、柏市２６４７、松戸市２３７１、我孫子市５５２、野田市４８７、流山市５１９です。小児科病床数は、現時点での明確な資料が公表されていないため把握していません。夜間小児救急医療体制は、各市とも二次救急医療体制が整備されています。

都内の医療法人が、北部地域への病院の立地に向け、令和４年度病床配分申請を行う際、あっせんなどの協力依頼を受けたため、誘致推進室が民間所有の土地情報を収集、提供する形で支援しました。当該法人からは、回復期、慢性期病床の病床申請と聞いています。

行政サービスの向上について

公明党　野村　誠

問　**北海道北見市は、本人同意のもと職員が要件を聞き取り、申請書を作成し、住民票などが取得できる「書かない窓口」を設置している。窓口業務効率化による職員の負担軽減を目的とした「書かない窓口」導入を検討すべきと考えるがどうか。**

答　**総合政策部長**　本市では、これまで窓口業務については、手続き関係課の連携、おくやみ相談窓口の設置、証明書のコンビニ交付、引っ越しワンストップサービス、郵送申請、電子申請を実施していますが、業務フローの見直しなどによる一層の業務改善が必要です。今後、「書かない窓口」の対象となる手続きや業務フローの調査研究を行っていきます。

移動手段の確保で高齢者にやさしい街へ

公明党　斉藤　真理

問　**本市の高齢化率の高い地域では、移動手段の確保は喫緊の課題である。①昨年策定された「流山市地域公共交通計画」を基に、北部地域ではどのような取り組みがなされているか。②今後の課題をどのように捉えているか。**

答　**まちづくり推進部長**　①高齢者の交通手段を確保するため、真和自治会住民の有志により、新たな公共交通サービスの導入に関する要望が提出されました。本年１月に開催した流山市地域公共交通活性化協議会において報告し、現在路線バス事業者による新たな路線やバス停の追加などを検討しており、今後、流山ぐりーんバス導入の検討、それ以外の代替手段の導入検討へ移行します。

②北部地域には、移動ニーズは高いが目的地に行きにくい公共交通検討地域が点在しているため、予約制デマンドタクシーなど、地域に合った交通手段を市民と共同で検討し、移動困難者をなくす公共交通の実現を目指します。

北部地域の学校環境の悪化は許さない！

日本共産党　植田　和子

問　**①江戸川台小学校のプールろ過機の点検は実施したのか。②ろ過機はなぜ更新しなかったのか。③北部地域の小中学校６校のプールは築何年か。④移動時間や他の授業への影響など課題が多い民間プール使用は、もっと慎重に対応すべきでは。**

答　**教育総務部長**　①新型コロナウイルス感染症の影響で水泳授業の実施を見送っていた２年間、プールの水を入れ替える必要がなく、不純物が発生していたため、プール槽の目視点検やろ過機の稼働点検は未実施でした。

②ろ過機の更新を必要とする修繕や、不具合がなかったため、更新しなかったと認識しています。

③東深井小学校は築47年、江戸川台小学校は築43年、西深井小学校は築43年、新川小学校は築32年、北部中学校は築51年、東深井中学校は築45年です。

④全ての学校を民間委託という考えはありません。実証実験を踏まえて課題などを検証した上で、今後の学校施設の老朽化対策、長寿命化なども併せて検討していきます。

体罰への真摯な反省と再発防止の徹底を

日本共産党　小田桐　仙

問　**①２０１７年、市内２小学校で発生した１年生に対する不適切指導と体罰について、事案の経緯をどう捉え、どのような対応を図るのか。②保護者の「市が本来しなくてはならなかった処分を怠った」とのご意見をどう受け止めているのか。**

答　**①市長**　大変重く受け止めており、当該児童、保護者の皆様に多大なご心配やご不安をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。本事案を教訓とし、再発防止の手立てを講じ、最大限取り組んでいます。具体的には、管理職に正確な事実把握、記録、市教育委員会への速やかな報告を求め、事案により県教育委員会と連携し適正に対応しています。また、教師が心にゆとりを持てるよう、働き方改革にも全力で取り組みます。

②教育長　各学校で起きた諸問題は、正確な事実確認の下、記録を残すことが一番大事と考えており、市教育委員会への速やかな報告を求め、厳正な対策を立て対応します。

南流山中学校移転に伴う通学路の安全対策

流山みらい　中村　彰男

問　**令和６年度に移転する同校の通学区内にある鰭ケ崎３７３地先交差点は、通行の見通しが良くなった。同交差点について、①改善された状況への問い合わせはあるか。②安全な歩行空間の整備が必要では。③整備する場合のスケジュールは。**

答　**土木部長**　①この状況を維持してほしい旨の要望を文書や電話でいただいています。

②当該交差点は、鰭ケ崎小学校と東洋学園大学跡地に移転する南流山中学校の通学経路であり、行政、警察、学校、ＰＴＡなどが合同で実施した通学路合同点検における安全対策の指摘箇所です。市としては見通しの良い状況を確保し、安全な歩行空間を備えた交差点にしたいと考え、今後関係地権者と協議し、安全な交差点形状を検討していきます。

③用地取得に向けて関係地権者などとの協議が必要となるため、具体的な期間については申し上げることができませんが、可能な限り早期に整備できるよう努めていきます。

障がい者や障がい児の保護者の相談充実を！

流山みらい　西尾　段

問　**①中途障がいを負った当事者や、障がい児の保護者からの、今後についての大きな不安から、同じ境遇の方々の話を聞きたいという声がある。対応は。②今後相談があった場合に個人を紹介することは可能か。③市の窓口以外での相談対応は。**

答　**健康福祉部長**　①障害を負うことになった方や障害のあるお子さんを出産した保護者の方の不安や置かれた状況を受け入れていく際の心境は、大変なものであると理解しています。障害のある方やご家族からの希望を受け個人を紹介することは難しく、現在行っていません。障害者手帳の交付時に全ての内容を説明すると１時間以上かかってしまうため、相談員や団体の情報について十分な案内が難しい場合がありますが、今後は、ニーズをより丁寧に確認し、対応します。

②今後は、さらに団体、個人に協力を募り、不安を抱える方に紹介できるよう取り組みを進めます。

③相談が電話でもメールでも、丁寧に対応します。

今定例会の一般質問通告は、市議会ホームページをご覧ください。　流山市議会　令和５年第１回定例会　日程・通告　検索

景観まちづくりを推進するために

流政会　近藤　美保

問　市は「都心から一番近い森のまち」の都市イメージに即した景観に誘導してきた。①取り組みをさらに進めるため、道路工作物の景観調整の指針作成を要望してきたが、その進捗は。②景観まちづくりを実践できる職員の育成には何が必要か。

答　まちづくり推進部長　①公共施設のうち、景観への影響が大きい道路工作物について、庁内で統一的な共通認識を持ち、景観の質を担保するため、「流山市公共施設等景観ガイドライン（案）」の策定作業を行っています。道路工作物は種類が多岐に渡ることから、当初は対象をガードレールや車止めなどの防護策に加え、標識、照明に係る柱類などに限定して策定しています。道路工事を主に担当する土木部と内容の調整を行い、景観まちづくりアドバイザーの意見を伺ったところであり、令和４年度中に策定する予定で作業を進めています。②景観とまちづくり双方の知識や技術を兼ね備えた職員を育成する必要があると認識しています。

目の不自由な方にも配慮し、ユニボイスの活用を

大野　富生

問　野田市では、令和２年から選挙ポスター掲示場に、投票方法、選挙公報の周知を目的に、ホームページに誘導するＱＲコードおよび目の不自由な方に向けた音声コード（ユニボイス）を表記している。流山市も導入してはどうか。

答　選挙管理委員会事務局長　今年４月の統一地方選挙のポスター掲示場の啓発面は、これまでの情報に加え、選挙のお知らせや選挙公報なども確認ができるよう、スマートフォンなどから市の選挙管理委員会ホームページへアクセスできるＱＲコードの印字を予定しています。

　議員ご指摘のユニボイスについては、啓発面の余白の都合上、また利用者がポスター掲示場まで足を運ばなければならないという手間を考慮し、印字は考えていません。ただし、視覚に障害のある方へ選挙に関する情報を届ける方法の一つとして、音声コードを活用することについては、今後研究していきます。

福祉有償運送は公的インフラか？

流山みらい　楠山　栄子

問　福祉有償運送は運転ボランティア不足が深刻である。①資格も取得できる運転者講習が先進市では無料だが、本市はどうか。②ゆうゆう大学で講習を実施しては。③公的インフラと捉えているのか。また、継続性の担保と公的責任への考えは。

答　健康福祉部長　①令和２年度までは運転手講習に必要な受講料の半額を補助していました。これに代えて、令和３年度からは運転手報酬なども補助対象とする新しい助成制度を創設しています。②運転講習の実施は、研究課題とします。ゆうゆう大学に限らず、今後さまざまな機会を捉え、周知啓発したいと思います。③重要な公共インフラの１つと認識していますが、現状、施策としてその全てを市が担うべきものとまでは至っていません。

　公共性、継続性が担保されていることは先進市から学ぶべきと思います。本市では、まだ市の施策としての位置づけなどに至っていないのが現状で、現在は事業者の支援に尽きると考えています。

ツイッター・フェイスブックで情報発信中

流山市議会では、ツイッターやフェイスブックで本会議や委員会のインターネット中継に関する情報発信を行っています。どうぞご利用ください。

ツイッター
アカウント名
nagareyamagikai

フェイスブック
アカウント名
Shigikai　Nagareyama

議員提出の可決議案

令和５年第１回定例会において可決された議員提出の議案（発議）は、次のとおりです。

◆発議第１号◆	つくばエクスプレスの更なる充実を求める決議について
◆発議第２号◆	中学校普通教室への電子黒板等の導入について財政措置を求める意見書について
◆発議第３号◆	若年がん患者の在宅療養生活支援に関し、国の支援策を求める意見書について
◆発議第４号◆	帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について
◆発議第５号◆	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書について
◆発議第６号◆	ロシアによる武力侵略及び核兵器使用示唆に抗議する決議について
◆発議第８号◆	賃金の大幅改善に向け、取り組み強化を求める意見書について
◆発議第９号◆	医療提供体制の拡充を求める意見書について
◆発議第10号◆	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について
◆発議第11号◆	千葉県立松戸保健所の分割・新増設等を求める意見書について
◆発議第12号◆	学校教育環境におけるICTの効果的な活用のため恒常的な国の支援策を求める意見書について
◆発議第13号◆	国の制度として18歳までの医療費無料化を求める意見書について

発議の内容については、市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会 令和５年第１回定例会 議案・陳情・発議　検索

市内在住・在勤・在学の方対象

流山市議会だより

写真コンクール作品を募集しています

流山市議会では、『流山市議会だより』の1面に掲載する写真を募集しています。
身近な方や風景など、心和む写真のご応募をお待ちしています。

テーマ
・流山市内で撮影した、四季折々の風景、祭りやイベントの写真
・学校の行事（運動会、修学旅行、文化祭など）の写真
※令和４年１月以降に撮影した、未発表の自作品

募集期間　令和５年５月１日(月)～５月31日(水)必着
※直接持ち込みしていただく場合は、平日の開庁時間内にお越しください。

賞　入賞４点（８月号、11月号、翌年２月号、５月号にそれぞれ掲載）
入賞者には賞状、3,000円相当の商品券、作品が掲載された市議会だより10部を進呈します。

応募規格　カラープリント２Ｌサイズ（127mm×178mm）
※紙面の都合上、必ず「横長」の写真でご応募ください。
※データでの応募や、合成などの加工写真は不可。

・ご応募いただいた作品は、返却できませんのであらかじめご了承ください。
・応募いただいた方の住所は、コンクールの広報活動で使用させていただく場合があります。

応募方法など詳細・お問い合わせは

流山市議会事務局
TEL：04-7150-6099　FAX：04-7150-2863
メール：gikai@city.nagareyama.chiba.jp

詳細はこちら

今定例会の一般質問通告は、市議会ホームページをご覧ください。　流山市議会　令和５年第１回定例会　日程・通告　検索

委員会の審査状況

本会議で委員会に付託された議案などの一部を紹介します。
なお、掲載する議案等は各委員会の委員が選定しています。

もっと詳しく知りたい方はこちら

各常任委員会で審査した議案の議決結果や委員長報告の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会 常任委員会審査概要・資料　検索

なぜ委員会で審査するの？

流山市議会では、議会に提出された「議案・請願・陳情」をそれぞれ担当の委員会に付託し、詳細な審査を行っています。各常任委員会の所管事項は、以下のとおりです。

委員会審査を含めた定例会の流れについては、**『流山市議会だより第172号』の5面**で詳しくご紹介しています。どうぞご覧ください。

『流山市議会だより第172号』はこちらからもご覧いただけます。

流山市議会だより第172号　検索

総　務　委員会

総合政策部・総務部・財政部・会計管理者・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項

議案６件を審査

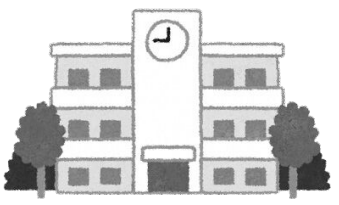
議案第３号「令和４年度流山市一般会計補正予算（第12号）」

本案は、国の令和4年度第2次補正予算の成立に合わせ令和5年度に予定していた（仮称）南流山第二小学校改修工事などを今年度に前倒して行う経費を追加するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種に係る経費の減額など、決算的見地から所要の補正を行うものです。（※）

➡ ４対１で可決すべきものと決定。

総務委員会に付託されたその他の議案

議案第２号、第４号～第７号
（議案名については８面をご覧ください。）



教育福祉委員会

健康福祉部・子ども家庭部・教育委員会の所管に属する事項

議案８件、陳情６件を審査

陳情第７号「『流山市いじめ対策調査会』の議事録等の記録方法の改善に関する陳情書」

以下の事項について、流山市教育委員会に要請してください。
（1）「流山市いじめ対策調査会」の議事録等の記録は、「流山市審議会等の委員の選任及び会議の公開等に関する指針」に規定されている事項を遵守すること。
（2）「流山市いじめ対策調査会」の議事録等の記録は、審議の過程を記載し、検証可能性を担保すること。

➡ 全会一致で採択すべきものと決定。

教育福祉委員会に付託されたその他の議案・陳情

議案第８号～第１５号、陳情第３号～第６号、第８号
（議案名等については８面をご覧ください。）

市民経済　委員会

市民生活部・経済振興部・環境部・農業委員会の所管に属する事項

議案６件を審査

議案第21号「流山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」

健康保険などにおける出産育児一時金の額の引き上げを踏まえ、国民健康保険における出産育児一時金の額についても同様の引き上げを行うものです。（※）

➡ 全会一致で可決すべきものと決定。

市民経済委員会に付託されたその他の議案

議案第１６号～第２０号
（議案名については８面をご覧ください。）

都市建設　委員会

まちづくり推進部・土木部・消防・上下水道局の所管に属する事項

議案５件、陳情１件を審査

議案第25号「令和５年度流山市下水道事業会計予算」

収益的収支では、収入を39億965万8千円、支出を37億9,362万9千円とするもので、資本的収支では、収入を17億7,175万5千円、支出を31億5,557万4千円とするものです。（※）

➡ 全会一致で可決すべきものと決定。

流山市下水道ビジョン

都市建設委員会に付託されたその他の議案・陳情

議案第２２号～第２４号、第２６号、陳情第２号
（議案名等については８面をご覧ください。）

各委員会の記事に記載の議案説明（※）の文章は、市長からの議案の提案理由説明から抜粋したものです。

令和５年流山市議会第１回定例会　議員別表決結果一覧

出席議員全員が賛成（全会一致）した議案、陳情、発議

議案	第２号	専決処分の承認を求めることについて【令和4年度流山市一般会計補正予算（第11号）】	第14号	流山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	第４号	流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例の制定について	第15号	流山市いじめ防止対策推進条例の一部を改正する条例の制定について
	第６号	流山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	第17号	令和4年度流山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
	第７号	工事請負契約の変更について【中央消防署移転に伴う造成工事】	第19号	令和4年度流山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
	第９号	流山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	第20号	流山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
	第10号	流山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	第21号	流山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	第11号	流山市立小学校設置条例及び流山市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	第23号	令和4年度流山市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
	第12号	流山市学校給食共同調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第26号	令和4年度流山市下水道事業会計補正予算（第3号）
	第13号	流山市学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
陳情	第３号	国の制度として18歳までの医療費無料化を求める意見書の提出を求める陳情書	第７号	「流山市いじめ対策調査会」の議事録等の記録方法の改善に関する陳情書
発議	第１号	つくばエクスプレスの更なる充実を求める決議について	第６号	ロシアによる武力侵略及び核兵器使用示唆に抗議する決議について
	第２号	中学校普通教室への電子黒板等の導入について財政措置を求める意見書について	第10号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について
	第３号	若年がん患者の在宅療養生活支援に関し、国の支援策を求める意見書について	第11号	千葉県立松戸保健所の分割・新増設等を求める意見書について
	第４号	帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について	第12号	学校教育環境におけるICTの効果的な活用のため恒常的な国の支援策を求める意見書について
	第５号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書について	第13号	国の制度として18歳までの医療費無料化を求める意見書について

賛否が分かれるなどした議案、陳情、発議

			審議結果	流政会								流山みらい				日本共産党				公明党				自由民主党		大野富生	森田洋一	阿部治正
				渡辺仁二	野田宏規	近藤美保	大塚洋一	坂巻儀一	石原修治	笠原久恵	青野直	森亮二	西尾段	菅野浩考	中村彰男	楠山栄子	藤井俊行	高橋光	植田和子	小田桐仙	乾紳一郎	岡明彦	戸辺滋	野村誠	斉藤真理	中川弘	海老原功一			
議案	第１号	令和5年度流山市一般会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		×	○	×
	第３号	令和4年度流山市一般会計補正予算（第12号）	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	×
	第５号	流山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	×
	第８号	令和5年度流山市介護保険特別会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	×
	第16号	令和5年度流山市国民健康保険特別会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	○
	第18号	令和5年度流山市後期高齢者医療特別会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	×
	第22号	令和5年度流山市土地区画整理事業特別会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	○
	第24号	令和5年度流山市水道事業会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	×
	第25号	令和5年度流山市下水道事業会計予算	○可決					○				／	○					×				○				○		○	○	○
陳情	第２号	消防団業務の「職務外」規定に関し、再度審議を求める陳情書	×不採択					×				／	×					×				×				×		×	×	×
	第４号	安心・安全な医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書提出を求める陳情書	×不採択					×				／	○					○				×				×		○	×	○
	第５号	流山市内のすべての医療機関（薬局含む）へ、光熱費高騰に対する支援金「（仮称）医療機関等総合緊急対策支援金」の支給を求める陳情書	×不採択					×				／	○					○				×				×		○	×	○
	第６号	介護保険制度の改善を求める意見書の提出を求める陳情書	×不採択					×				／	×					○				×				×		○	×	○
	第８号	不登校の生徒が15の春に安心して進学できるために不登校専門の指導員を中学校に配置することの陳情書	×不採択					×				／	○					○				×				×		○	×	○
発議	第７号	敵基地攻撃能力と軍拡の中止を求める意見書について	×否決					×				／	×					○				×				×		○	○	○
	第８号	賃金の大幅改善に向け、取り組み強化を求める意見書について	○可決	×	×	×	×	×	×	×	○	／	○					○				○				○		○	○	○
	第９号	医療提供体制の拡充を求める意見書について	○可決					×				／	○					○				○				○		○	○	○
				渡辺	野田	近藤	大塚	坂巻	石原	笠原	青野	森	西尾	菅野	中村	楠山	藤井	高橋	植田	小田桐	乾	岡	戸辺	野村	斉藤	中川	海老原	大野	森田	阿部

※表の見方　○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：棄権
※議案名に続く【　】内は、補足として記載しています。
※森亮二議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。
※可決した意見書は、関係省庁に提出しました。

※その他　•欠席した議員がいた場合 → 出席議員全員が一致したものは「全会一致（上表）」、賛否が分かれたものは「賛否が分かれた（下表）」、表示は［欠］
•退席した議員がいた場合 → 審議結果にかかわらず全て「賛否が分かれた（下表）」、表示は［－］

委員が交代します

※大塚副委員長、小田桐委員は当日欠席

議員の任期満了により、今号をもちまして、議会広報広聴特別委員会の委員が交代します。
新しい委員となりましても、引き続き『流山市議会だより』をよろしくお願いします。

あとがき

議会広報広聴特別委員会では、より読みやすい市議会だより作りに取り組んでまいりました。
これまで多くのご意見・ご感想を賜り、ありがとうございました。

議会広報広聴特別委員会

委員長　森田洋一
副委員長　大塚洋一
委員　大野富生
委員　野村誠
委員　阿部治正
委員　楠山栄子
委員　中川弘
委員　小田桐仙

議会の窓

21世紀も、5分の1が過ぎました。
スポーツ・文化・芸術の世界では、ワールドカップ（W杯）などが大きな感動を広げています。その背景には、選手たちのたゆまぬ努力と果敢な挑戦とともに、国・人種・宗教・肌の色・性別など、差別を排する主体的な姿勢があるからではないでしょうか。一方、国内では女子サッカーW杯本大会の国内テレビ放送、ネット配信が3月の時点でいまだ白紙のようです。
そんな中、本市では、「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」が4月から施行され、市民が主体的に、一人ひとりが尊重される地域社会を創っていく歩みがスタートしています。

小田桐　仙

次回定例会のお知らせ

令和5年第2回定例会は、次の会期日程（案）のとおり開催される予定です。

令和5年第2回定例会会期日程（案）

6月22日(木)	本会議	午後1時開議
27日(火)	本会議（一般質問）	午前10時開議
28日(水)	〃	〃
29日(木)	〃	〃
30日(金)	〃	〃
7月3日(月)	総務委員会	午前10時開議
4日(火)	教育福祉委員会	午前10時開議
5日(水)	市民経済委員会	午前10時開議
6日(木)	都市建設委員会	午前10時開議
12日(水)	本会議	午後1時開議

※議会日程は急遽変更になる場合があります。最新の日程は、市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

VEGETABLE OIL INK
マチイロ　マチを好きになるアプリ
流山市議会だよりは、無料スマホアプリ「マチイロ」でもご覧いただけます。
流山市議会　マチイロ　検索